

災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 県では、昨日、20時36分の七尾市への「顕著な大雪に関する気象情報」の発表を受け、同時刻に災害対策本部を設置し、大雪による被害の発生に備えるため、万全の態勢で警戒にあたってきた。
- これまで、七尾市などに発表されていた大雪警報は全て注意報に切り替わったものの、加賀では本日夕方にかけて、能登でも昼前にかけて大雪に注意が必要と考えている。
- このため、本日、金沢河川国道事務所などの参加も得て、この会議を開催したところであり、この後、気象台から今後の雪の見通しを説明いただくほか、各部局及び関係機関からは、最新の状況などについて報告をいただきたい。

2. 会議最後の発言

- 今ほど、関係の皆さんから、報告があったとおり、幸いにも大きな被害が確認されていないものの、今後も早め早めに準備を行い、引き続き、十分な警戒をお願いしたい。

とりわけ電力については、この寒い時期に電気が来ないと、高齢者の方も体調を崩す可能性もありますので、早めの対応をお願いしたい。

- 各部局長及び関係機関の方々には、それぞれの所管について今後の気象状況などにも留意しながら緊張感をもって対応していただきたい。

○ 特に幹線道路はもとより、生活道路や山間部の道路についても、国・県・市町などが協力して除雪に万全を期していただきたい。

- 県民の皆さまには、昨日もお願いしたところであるが、
- ・ 気象台の発表やニュースなどの最新の気象情報を確認する
 - ・ 今日、明日と除雪作業をされる方が多いと思うが、除雪作業は2人以上で行う
 - ・ 除雪作業前には、側溝や水路などの危険箇所を確認し、屋根からの落雪にも注意する

など今回の大雪により、被害が発生しないよう、万全の備えを是非お願いしたい。

- 今後の災害対策本部員会議については、大きな被害が確認された場合など、必要に応じて開催する。